

2019年5月20日

バンダイこどもアンケートレポート Vol.251

「小中学生のおこづかいに関する意識調査」結果

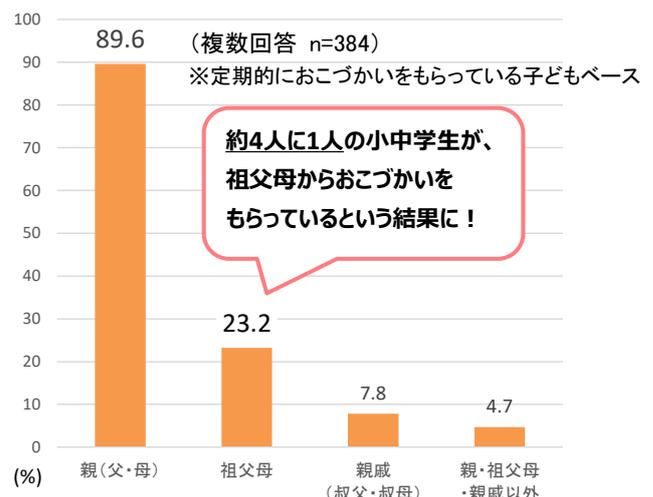
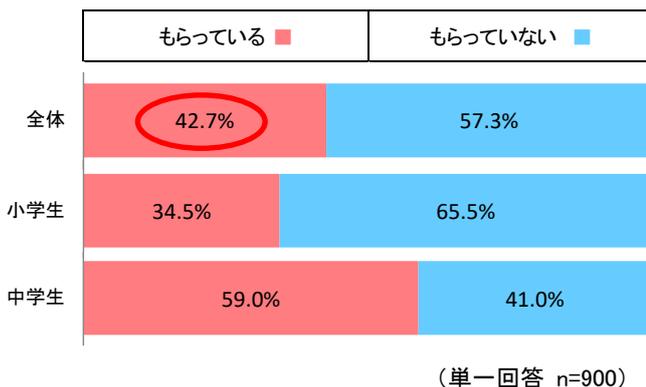
- TOPIC①: 定期的におこづかいをもらっている小中学生は **42.7%**。(小学生 34.5%、中学生 59.0%)
 そのうち、親からもらう子どもは **89.6%**、祖父母からもらう子どもは約 4 人に 1 人 (23.2%) !
 もらっている子どもの約 8 割が、子ども自身でおこづかいを管理していることが判明。
- TOPIC②: 親からもらう定期的なおこづかいの 1 カ月の平均金額は **1,892 円**。
 祖父母からもらう定期的なおこづかいの 1 カ月の平均金額は **2,869 円**と、親の約 1.5 倍の金額に。
- TOPIC③: 小中学生のおこづかいの使い道は男女共に**お菓子やジュースなどの飲食物**が 1 位。
4 人に 1 人は「貯金」をしていると回答し、堅実な一面も。
- 総括 : バンダイからのコメント

株式会社バンダイ(代表取締役社長:川口勝、本社:東京都台東区)は、進学・進級の時期にあわせ、小学 1 年生から中学 3 年生の子どもを持つ親(子どもと一緒に回答できる方)900 人を対象に、「小中学生のおこづかいに関する意識調査」を実施しました。調査結果を以下の通り発表いたします。

<実査期間:2019年4月12日(金)~4月14日(日)>

TOPIC①: 定期的におこづかいをもらっている小中学生は 42.7%。(小学生 34.5%、中学生 59.0%)
そのうち、親からもらう子どもは 89.6%、祖父母からもらう子どもは約 4 人に 1 人(23.2%) !
もらっている子どもの約 8 割が、子ども自身でおこづかいを管理していることが判明。

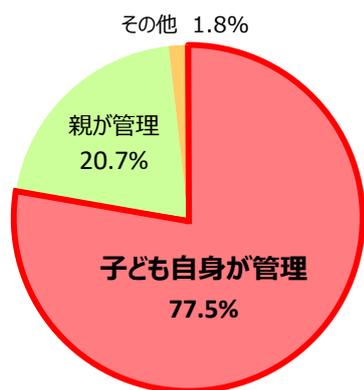
【おこづかいを定期的にもらっている割合】



小中学生のおこづかい事情を探るため、「おこづかいをもらっているか」について聞いたところ、もらっていると回答した子どもは全体で75.6%(小学生68.0%、中学生90.7%)となり(後述:参考データ①参照)、そのうち、1週間に1回、1カ月に1回など定期的におこづかいをもらっていると回答した子どもは全体の42.7%(小学生34.5%、中学生59.0%)となりました。

また、定期的にもらっていると回答した子どもに「誰からおこづかいをもらっているか」について聞いたところ、89.6%が親からもらっており、約4人に1人(23.2%)の子どもが祖父母からおこづかいをもらっていることがわかりました。

【小中学生のおこづかいの管理方法について】(単一回答 n=680 ※何らかのおこづかいをもらっている子どもベース)



おこづかいの管理方法について聞いたところ、おこづかいをもらっている子どものうち、約8割(77.5%)が子ども自身で管理していることがわかりました。具体的な管理方法については、「貯金箱」や「財布」に入れて管理しているという意見のほか、「おこづかい帳をつけている」との声も多く、子どもに考えながらおこづかいを使わせている様子もうかがえました。

TOPIC②: 親からもらう定期的なおこづかいの1カ月の平均金額は1,892円。

祖父母からもらう定期的なおこづかいの1カ月の平均金額は2,869円と、親の約1.5倍の金額に。

【小中学生のおこづかいの平均金額】(数値回答 ※親または祖父母から定期的なおこづかいをもらっている子どもベース)

<定期的なおこづかいの1カ月の平均金額>

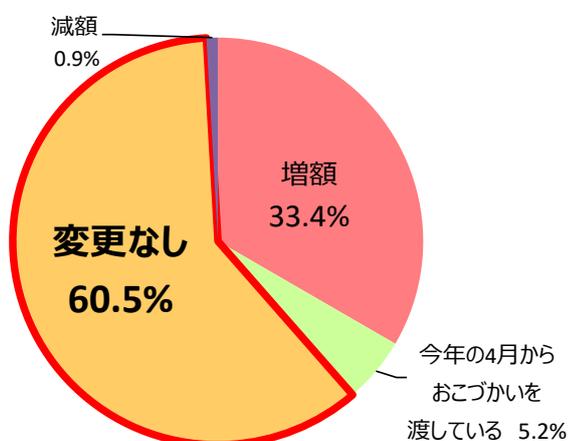
【定期的】	全体	小学生全体	小学1~3年生	小学4~6年生	中学生全体
平均金額(全体)	¥2,036	¥1,662	¥1,207	¥1,996	¥2,449
親からもらう平均金額	¥1,892	¥1,507	¥1,045	¥1,845	¥2,298
祖父母からもらう平均金額	¥2,869	¥2,436	¥2,007	¥2,758	¥3,500

定期的にもらうおこづかいの金額について聞いたところ、全体の1カ月の平均金額は2,036円。親からもらう平均金額は1,892円、祖父母からもらう平均金額は2,869円となり、**祖父母からもらう金額は、親の約1.5倍**となっていることがわかりました。学年別にみても、親からもらう定期的なおこづかいの1カ月の平均は小学生1,507円、中学生では2,298円、祖父母からもらう平均は小学生2,436円、中学生では3,500円となりました。

なお、2016年にバンダイが実施した「小中学生のおこづかいに関する意識調査」結果と比べてみると、全体と親からの平均金額は約200円アップ、祖父母からの平均金額は約800円アップとなっており、**相対的に定期的なおこづかいの平均金額が上がっている**ことがわかりました。(後述:参考データ②参照)

【進学・進級に伴う、おこづかいの金額の変更状況】

(単一回答 n=344 ※親から定期的におこづかいをもらっている子どもベース)



4月の子どもの進学・進級にともなう、1回あたりのおこづかい金額の変更状況について聞いたところ、全体の約6割が金額を変更していないことがわかりました。理由としては、「必要な時に渡している」といった意見のほか、低学年の子どもの親からは、「まだ金銭管理ができない」、「お金に興味がない」といった声もあがりました。また、おこづかいを増額する家庭は33.4%と全体の約3割という結果に。「進級」という理由が多く上がった一方で、中学生の子どもからは、「活動範囲が広がったから」、「付き合いが増えたから」など、交友関係や活動の幅が広がっていることをうけて増額しているという意見も見受けられました。なお、増額の平均金額は、小学生は524円、中学生は940円となりました。

※平均金額の算出方法について

「定期的におこづかいをもらっている」とされた回答より、「毎日」の金額=30倍、「週1回」=4倍、「2週に1回」=2倍、「月1回」=そのまま、「その他」は算出から除外として、1人の1カ月あたりの金額を算出し、平均値を出しています。

**TOPIC③: 小中学生のおこづかいの使い道は男女共にお菓子やジュースなどの飲食物が1位。
4人に1人は「貯金」をしていると回答し、堅実な一面も。**

【おこづかいの使い道について】（複数回答 n=680 ※何らかのおこづかいをもらっている子どもベース）

おこづかいの使い道 総合TOP10		
1位	お菓子やジュースなどの飲食物	60.0%
2位	文房具	35.6%
3位	マンガ(雑誌・コミック)	33.7%
4位	貯金	25.6%
5位	書籍(マンガ以外)	18.4%
6位	おもちゃ	16.5%
7位	ゲーム(アミューズメント施設内)	15.7%
8位	ゲームソフト	15.4%
9位	外出時の交通費	12.9%
10位	外食	12.1%

学年別 TOP10				男女別 TOP10				
小学生		中学生		男子		女子		
1位	お菓子やジュースなどの飲食物	57.1%	1位	お菓子やジュースなどの飲食物	64.3%	1位	お菓子やジュースなどの飲食物	62.0%
2位	文房具	30.6%	2位	文房具	43.0%	2位	マンガ(雑誌・コミック)	50.1%
3位	マンガ(雑誌・コミック)	28.9%	3位	マンガ(雑誌・コミック)	40.8%	3位	貯金	34.0%
4位	貯金	28.4%	4位	外出時の交通費	26.5%	4位	ゲームソフト	27.1%
5位	おもちゃ	22.5%	5位	映画を観に行く	25.4%	5位	文房具	21.6%
6位	ゲーム(アミューズメント施設内)	15.0%	6位	外食	24.3%	6位	おもちゃ	19.6%
7位	書籍(マンガ以外)	14.7%	7位	書籍(マンガ以外)	23.9%	7位	ゲーム(アミューズメント施設内)	18.2%
8位	ゲームソフト	11.8%	8位	貯金	21.3%	8位	書籍(マンガ以外)	15.9%
9位	カードゲーム	8.6%	9位	ゲームソフト	各21.0%	9位	カードゲーム	15.3%
10位	服・アクセサリー	6.9%	10位	友達へのプレゼント		10位	外食	14.4%

小中学生におこづかいの使い道について聞いたところ、男女共に1位は「お菓子やジュースなどの飲食物」となりました。学年別にみると、中学生のランキングでは、4位「外出時の交通費」、5位「映画を観に行く」、6位「外食」など、上位に外出先での使い道がランクインしており、学年が上がるにつれておこづかいの金額も増え、使用する用途も広がっている様子が見受けられました。

また、男女別にみると、男子では4位「ゲームソフト」や5位「おもちゃ」、7位「アミューズメント施設でゲームをする」といった、遊ぶものに使用している傾向が読み取れる一方で、女子では、6位「友達にプレゼントを買う」、7位「服・アクセサリーを買う」など、男子とは異なる使い道もTOP10にあがりました。

なお、総合4位には「貯金」(25.6%)がランクインしており、約4人に1人の子どもが貯金をしているという堅実な結果となりました。学年別にみると、小学生は28.4%いるのに対し、中学生になると21.3%に割合が減少していることから、中学生になりお金の使い道が増えることで、消費する割合が増えていることが推測できる結果となりました。

【バンダイからのコメント】

進学・進級の時期に合わせて、2016年以来3年ぶりに「小中学生のおこづかいの実態」について調査を実施しました。

定期的なおこづかいに加え、不定期にもらうおこづかいについても聞いたところ、「お手伝いをした後にもらう金額」の平均金額は、親からは246円、祖父母からは1,023円となりました。また、「必要な時にもらう金額」の平均金額は、親からは1,371円、祖父母からは2,884円という結果になり、定期的なおこづかいだけでなく、不定期にもらうおこづかいについても、祖父母の金額が高いことがわかりました。（後述：参考データ③参照）

親と祖父母両方から定期的におこづかいをもらう子どもは約10人に1人という結果も出ており、子どものお財布事情がうかがい知れる調査となりました。

■調査概要

【調査目的】 小中学生のおこづかいの実態を探る

【調査地域】 全国

【対象者条件】 小学1年～中学生3年生の子どもを持つ親(25歳～59歳) ※子どもと一緒に回答できる方

【調査手法】 インターネット調査(協力:株式会社クロス・マーケティング)

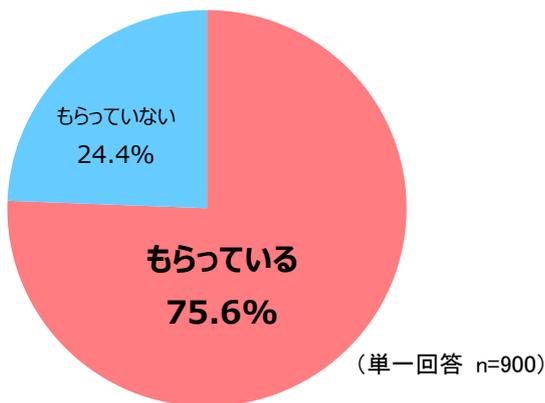
【実査期間】 2019年4月12日(金)～4月14日(日)

【サンプル数】 900人

【構成】

(全体)	小学1年生	小学2年生	小学3年生	小学4年生	小学5年生	小学6年生	中学1年生	中学2年生	中学3年生
男児	50人								
女児	50人								

■参考データ①:小中学生のおこづかいをもらっている割合(定期的・不定期全て含む)



■参考データ②:定期的なおこづかいの1カ月の平均金額(2016年)

(数値回答 ※親または祖父母から定期的なおこづかいをもらっている子どもベース)

【定期的】	全体	小学生全体	小学1～3年生	小学4～6年生	中学生全体
平均額(全体)	¥1,881	¥1,473	¥1,128	¥1,633	¥2,291
親からもらう平均額	¥1,688	¥1,227	¥645	¥1,483	¥2,143
祖父母からもらう平均額	¥2,081	¥1,848	¥2,018	¥1,731	¥2,381

■参考データ③:不定期(手伝い時・必要な時にもらうなど)なおこづかいの1回あたりの平均金額

<お手伝いをした後にもらうおこづかいの平均金額>

(数値回答 ※親または祖父母からお手伝い後にもらっている子どもベース)

【お手伝いをした後にもらう】	全体	小学生全体	小学1～3年生	小学4～6年生	中学生全体
親からもらう平均金額	¥246	¥132	¥108	¥157	¥532
祖父母からもらう平均金額	¥1,023	¥595	¥448	¥706	¥1,800

<必要になった時にもらうおこづかいの平均金額>

(数値回答 ※親または祖父母から必要時にもらっている子どもベース)

【必要になった時にもらう】	全体	小学生全体	小学1～3年生	小学4～6年生	中学生全体
親からもらう平均金額	¥1,371	¥1,008	¥1,093	¥958	¥1,859
祖父母からもらう平均金額	¥2,885	¥2,068	¥2,291	¥1,874	¥3,949

こどもアンケート: <https://www.bandai.co.jp/kodomo/>

バンダイ公式サイト: <https://www.bandai.co.jp/>

**次回 バンダイこどもアンケート
6月下旬「習い事に関する意識調査」配信予定**